

## 私のすすめるこの1冊

山下 良樹 (理学科 講師)

### 『女子中学生の小さな大発見』

清邦彦(著)

皆さんは普段の生活の中で疑問や不思議に思うことはありますか？

現代社会では、ブラックボックスと呼ばれる内部構造やしくみが分からなくても扱える、装置やアプリケーションが沢山あります。それらは、特に考えることもなく、「そういうモノなんだ」で使用できます。一方で、「ニュートンはリンゴが木から落ちる場面を見て万有引力を閃いた<sup>[1]</sup>」という有名な話があります（この話の虚実については諸説あります）。ニュートンは物体が落ちるといふ、何気ない現象に注目し、万有引力という地球上だけでは無く宇宙のどこでも成り立つ法則を発見しました。普段から物事について不思議に思う習慣を身に付けていれば、ニュートンのような世紀の大発見も夢では無いかもしれません。

ちょっと大げさなことを言いましたが、普段から物事に興味・関心を持つことは非常に大切です。しかし、「難しいなあ」や「何をすれば良いのか分からない」と構えてしまう人もいます。そんな人にピッタリなのが、今回紹介する『女子中学生の小さな大発見』です。本書は女子中学生

が取り組んだ夏休みの自由研究をまとめたものです。著者はまえがきで、

- ・別に結論が出なくてもいい
- ・ちょっと試してみた
- ・なぜだろうと疑問に思っただけ
- ・すごいっ、と感動しただけ
- ・育ててみた、飼ってみた、それだけで研究
- ・見た、見つけた、気がついたなら、発見

と述べています。実際、本文に出てくるレポートの大半が日常の観察や素朴な疑問に取り組んだ結果をまとめたものです。読んでみると突っ込みたくなる内容も多々あります。しかし、「良くそこに着目したなあ」という面白さがあります。

普段の生活の中で興味・関心を持ち疑問や不思議に思ったことが、その時は答えが分からなかったとしても、後々その疑問が解けたと思える日が来るかもしれない、思いがけなく何かの原理を発見するかもしれない。皆さんの日常の中の小さな疑問や関心が、発見やアイデアに繋がれば素晴らしいと思い、この本を紹介します。

[1]Wikipedia より



+++++++ 「リクエストと投票で話題の本を読もう！」+++++++

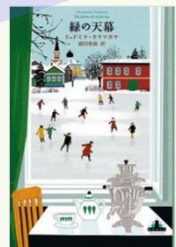
リクエストと図書館員が選定した巷で話題の図書を対象に、みなさまの投票で購入が決まります。2015年度より、毎年実施している人気の企画です。昨年度も、リクエスト・投票をありがとうございました。その中で、人気のあった図書を月別に紹介します。話題の本をぜひご利用ください。

4月



JK、インドで常識ぶっ壊される / 熊谷はるか著  
開架 西館2階  
292.5||KU 33

5月



緑の天幕 / リュドミラ・ウリツカヤ(著)  
軽読書 南館1階  
||U 61

6月



古今東西スイーツ物語 / 吉田菊次郎(著)  
開架 西館2階  
383.8||Y 86

7月



フリースタイル言語学 / 川原 繁人(著)  
開架 南館2階  
804||KA 92

8・9月



王さまのお菓子 / 石井睦美(文)、くらはしれい(絵)  
児童書 南館1階  
E-1||I 75

10月



長い長い夜 / ルリ(著・イラスト)、カン・パンファ(翻訳)  
児童書 南館1階  
J-1||R 87

11月



相棒は秋田犬 / 村山二郎(著)  
開架 南館2階  
645.6||MU 62

12月



ドイツの家と町並み図鑑 / 久保田由希, チカ・キーツマン(著)  
開架 南館2階  
523.34||KU 14

1月



月の満ち欠け / 佐藤正午(著)  
軽読書 南館1階  
||SA 85

2・3月



超絶技巧の西洋美術史 / 池上英洋, 青野尚子(著)  
開架 南館2階  
723.3||I33

+++++++

学生・教職員のみなさまからのリクエストをお待ちしています。どんどん参加してください！リクエストは随時受付中です。

【投票期間】

4月5日(水)～5月17日(水)

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入していません。

+++++++


+++++++

京都教育大学  
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第36 回のお知らせ

※今までの回も視聴できますので、ぜひご覧ください！



YouTubeのみ公開予定です

【講師】中村 瑛仁(教育学科 講師)

【テーマ】データでみる日本の教員の現在

<概要> 本講座では、様々なデータを紹介しながら、日本の教師の仕事や職場環境などの特徴を整理します。様々な国との比較から浮かび上がる日本の教師の特徴と現状を整理、今後の求められる取り組みや準備しておくべき内容などを紹介します。

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会  
後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

+++++

図書館ツアー・講習会に参加しよう！

図書館ではさまざまな講習会を、4～5 月中予約制で開催します。レポート・論文を執筆する前に、図書館職員から施設・サービス・資料の利用方法を聞いてみませんか？ご参加お待ちしております！

【申込方法】氏名・専攻・希望講座・希望日時(曜日・時限(平日 11:30～17:15))を明記の上 library@kyokyo-u.ac.jp 宛に前日までにご連絡ください。調整の上、いただいたメールアドレスに開催日時を連絡いたします。

予約制！

【集合場所】附属図書館カウンター  
詳細は、ホームページやポスターで！

+++++

児童書コーナー(南館1階)

幼児教育科主催  
えほんのもり

今月の絵本カード(学生作)  
『オニじゃないよおにぎりだよ』  
作:シゲタサヤカ  
出版社:えほんの杜



※児童書コーナーに  
かわいいカードが  
飾られていますので、ぜひ見に来て  
ください。

+++++

研修・セミナー室の利用条件の変更について

5月8日(月)より、研修・セミナー室の利用条件を以下の通り変更します。

(1)利用人数上限の拡大

- 研修・セミナー室1:40名
- 研修・セミナー室2:6名
- 研修・セミナー室3、グループ学習室:10名

(2)コロナ対策への協力

・利用時にドアを閉めても可。可能な限り窓は開けて適切な換気をしてください。

※利用終了時の消毒は4月1日より不要となりました。

(3)学生の利用条件の緩和

下記の条件で利用可能になります。

- ・セミナー室1～3、グループ学習室とも予約可。
- ・利用人数上限は(1)のとおり。
- ・1回の利用時間は2時間まで。後に予約がなければ延長可。
- ・予約は1ヶ月先まで、最大3回まで可。  
※利用終了時の報告書提出は不要となります。  
グループ学習や面接練習、模擬授業などにご活用ください！

+++++

学修相談カウンター



院生がいろいろな質問に対応してくれます。  
勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？  
今年度も実施予定です！

詳しくはHP等でご確認ください→



+++++

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【5月の開館日時】

1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)  
14:00～17:00

今月の逸品(4・5月)

「京都教育大学日本史学研究所蔵資料」

文政7年(1824)9月  
宗門人別改帳  
(錦小路通烏丸東入 元法然寺町)

展示場所:附属図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム  
https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/

## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 榊原 禎宏 (教育学科 教授)

### 教員の離職に関する量的研究 —1976年度京都市立小学校に新規採用された教員の追跡—

榊原 禎宏・孫 瑩

京都教育大学紀要 2022, No.141, pp.15-28  
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9761>

教員としての資質力量の獲得は、大学等での養成段階で終わりではなく、長期的に図られるべきものと考えられています。「教職生涯を通じて探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続けるべきと提唱する中央教育審議会答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(2021)は、その一例でしょう。ここに疑問が浮かびます。教職生涯とは、どれほどの長さを指すのでしょうか。たとえば、文科省は初任者から中堅教員、さらに学校管理職等への「各ライフステージに応じて求められる資質能力」を示しますが、すべての教員が20代から60代に至る教職生活を送るという設定は、そもそも妥当でしょうか。この点で、教員の「燃え尽き症候群」ほか休職や中途退職に関するケース分析はありますが、同一採用年度など同じコーホートに即した量的な実証を見出すことはできません。教職キャリアを辿る人たちはどれだけの期間、学校での勤務を続けているのか、また、離職が生じやすい時期や属性による傾向があるのかなど、基本的な問いに未だ答えられていない研究状況なのです。

そこで本論文は、事例の260名それぞれの小学校教員がどの学校に何年間在籍し、いつ学校あるいは教育委員会を転任し、定年または中途退職したのかを『学事関係職員録』ほか関係資料にもとづいて、地道に追いかけてきました。その結果から得られた知見は、次の通りです。①離職は採用後5年間と26年目以降に多く見られる一方、定年まで勤務し続ける者も決して少なくない。このため、教諭から主任、学校管理職へと描かれがちな教職キャリア論は、かなり限定的に扱うことが必要である。②女性は初任期での離職が明瞭で、その後も断続的に離職が見られるのに対して、男性は50代初頭ようやくまとまった離職が生じる。その結果、定年退職まで勤務する男性は採用者の約7割に対して、女性はその3分の1に留まる。また、男性の約3割が校長職に就いたが、女性はその10分の1、つまり30人あたり1人に過ぎない。よって、男女差を顧慮しない教職キャリアの議論は生産的ではない。③定期的な学校間転任や学校種を跨ぐ異動は教員にとって大きな負荷であり、離職に影響すると推論できるが、これを支持する結果は得られなかった。

いま、教員への道を歩んでいる学生のみなさんは、自身のキャリアをどのように描いているのでしょうか。ぜひ一読ください。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要141号に掲載されています。

※京都教育大学リポトリ「クエリ(KUERe)」の森<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2023年5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2023年6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

6/1 創立記念日

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>  
(QRコード→)



京教図書館 News No.272 (2023年5月号)  
発行日:2023年5月1日  
編集発行:京都教育大学附属図書館  
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人  
京都教育大学  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION